

社会構造の変化、社会問題の複雑化



ますます子どもを取り巻く状況は深刻に・・・



「こどもまんなか社会」を作ろう！

これを実現するために、2023年4月より、こども家庭庁が発足します。

四恩幼稚園は政府の方針に早急に対応し「子育て支援」の質を高めていきます！



みんなに安心・安全な空間を

ぱんだくらぶの子育て支援

保護者

子ども

先生

子どもの皆さんには

・造形あそび

社会性や発達を促す活動で非認知能力（※）を高めます。

※意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった、測定できない個人の特性による能力。

・多様なクラス展開

2歳～5歳においては、個別、小集団、クラス全体でも遊びます。1回30分程度。火・木・金の週3回でクラスの活動に合わせ、柔軟に計画。その子の状態や希望によって参加頻度は変わります。全員でのぱんだクラブは学期に一度以上は計画しますが、特に感覚遊びのスライムは人気です。ルンビニさん（1歳児）にも、担任と連携し、造形遊びや集団遊びを通した豊かな体験を提供します。



保護者の皆さんには

・子育て相談

我が子の気になる事や育児の疑問を共に考えます。

・発達支援

発達に関するサポートで安心な就学に繋がります。

・子育て支援イベント

夏休みに親子で楽しめるイベントを未就園児向けに行います。お配りする冊子には乳幼児期に大切なあそびをまとめています。

先生の皆さんには

・特性ある子どもとの関わり方を日々のぱんだくらぶの姿を共有することで学びます。

・連続性のある保護者支援を共にしていきます。

・より良い保育へつなげるために心理面でのサポートを行います。

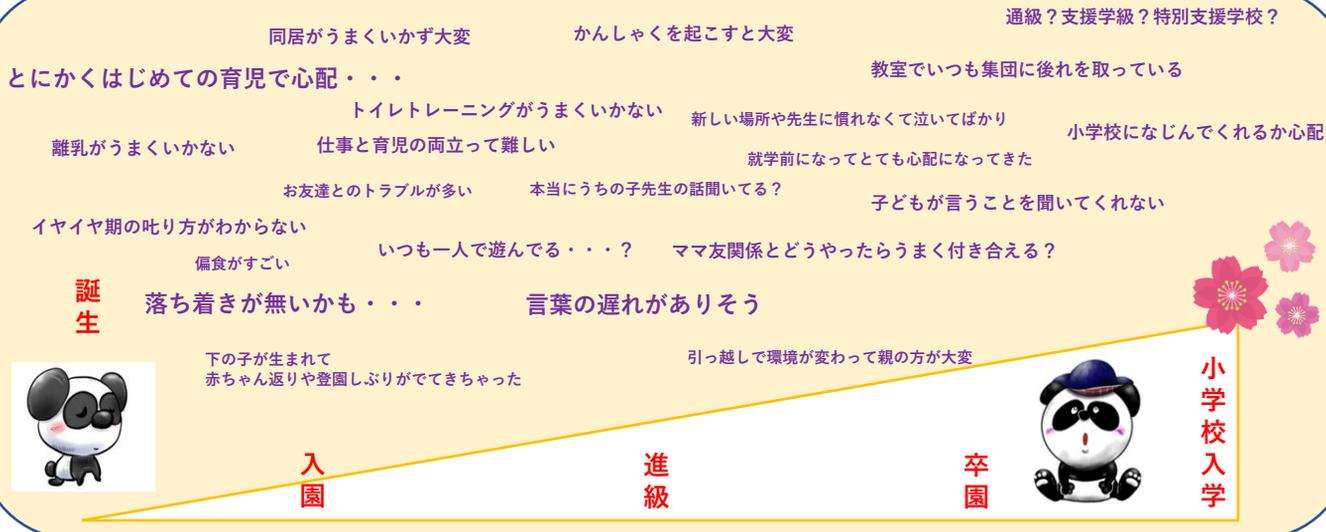
・ルンビニの先生とも乳児期のあそびや養護面について共に考えます。

ぱんだくらぶ担当

遠藤由美子

(四恩幼稚園 発達保育講師)

ぱんだくらぶはこんなところ！



子育ては楽しいことも多いけど、乳幼児期はあれこれ心配な事も・・・。
ぱんだくらぶの子育て相談は**無料**です（事前申込）。

上記の心配事は実際にあったご相談テーマ。先輩ママ達も同じように悩まれてきました。
乳幼児期のお困りごとは、色んな人に相談すると心が和らぎます。それによって状況が変わることも。
成長を気長に見守る必要がある時は、定期的に担任と共に面談をします。

Q) 誰でも行けるのですか？

誰にでも開かれている安心・安全の空間です。子どもの気持ちは環境の変化で左右されやすいので、そんな子どもたちをフォローする空間として先生方に活用してもらっています。個別、少人数、クラス全員と活動形態は様々。順番で行ったりもします。



Q) どんなことをしますか？

造形遊びをベースにすることもあれば、前庭系や固有覚を育てる遊び、社会性を育てるゲームなどもします。子どもたちの状態や興味関心、季節や時代を考慮した活動にも展開します。

Q) ぱんだくらぶにいつ行くのですか？

火、木、金のうちで行事や正課の授業の合間をみて担任と柔軟に計画し、子どもたちの様子によって、順番を回しています。

保護者や担任と相談し「発語を促すため」「情緒を落ち着けるため」や「安心感を得るため」に他の子よりも週1、2回と多めに行く子もいます。単に造形遊びが大好きでいつも行きたがってくれる子もいます。反対に「ぱんだより園庭遊びの方がいい！」と言ってぱんだの順番が来ても行かない子もいます。ルンビニさん（主に1歳）は集団生活がまとまってきたら、本園でのぱんだくらぶに参加。感覚遊びや手遊びなどの年齢にあった造形遊びやごっこ遊びなどをします。

学期に1度はクラス全員（あるいは半分毎）で造形遊びを楽しむので、欠席でなければ学期に1度以上は行く機会をもうけています。

Q) 子育てで悩んでいます。

火、木、金で事前に担任や事務経由でぱんだくらぶの子育て相談にお申込みください。特別支援教育士や保育者としての視点が皆様のお役に立つかもしれません。

「担任に相談する程でもないけど聞いてほしい！」でも歓迎します。身近な相談役としてもお気軽にどうぞ！発達に関する事はもちろん、セルフケアについてのアドバイスもできます。

Q) ぱんだくらぶで子どもはどう変化しているのですか？

週1回でもぱんだくらぶでの遊びを通じて、教室内の活動に前向きな変化が確認されています。発達のスピードには個人差がありますが、個別や小集団の活動だとその子のペースに合わせられるので情緒も安定します。



ぱんだくらぶの流れ



楽しい事はこころとからだを温めてくれます。
ぱんだくらぶはそんな活動を通して、非認知能力（※）を伸ばします。

※意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった、測定できない個人の特性による能力。

【おあつまり】

注目されるとドキドキする子ども、少人数ならお名前も言えるかもしれませんが。お集まりは座ってお話を聞くことですが、それが難しい子ども落ち着いた環境で楽しい事があれば、短時間でも座ってお話を聞く経験を積み重ねていきます。手遊び、歌遊び、パネルシアターなどを見ることがあれば、インタビューをしたり、クイズをしたり、その子、その集団に合ったお集まりをします。

【主活動】

造形遊びが中心です。アートの世界は心を豊かに広げ、乳幼児期には親しみやすい世界です。ルールが理解できるようになると、簡単なゲームも取り入れて社会性を育てます。

一番人気の感覚遊びはスライム。遊びの幅を広げながら、脳のごちそうの“感覚”をどんどん入れていきます。一部の男の子達に熱い支持を集めるのは、ジオラマ&Nゲージでの電車ごっこ。鉄道好きな運転手の小林さんがボランティアで作ってくれたり、譲ってくれたもの。子どもたちにとって好きなものは想像を超える大きな力になります。母子分離で大泣きしている男の子も、“あ！幼稚園って楽しいこともある・・・！”と電車マジックで気分をきりかえられたりします。

様々な遊びの中で「話を聞く」「順番を待つ」「勝負に勝っても負けても気持ちを切り替える」「時間を守る」などの社会性を無理なく学び、小さな成功体験を積み重ねます。

個別の時はトランポリンやバランスボールをしたり、足つぼマットで足裏に感覚をいれたり、療育でも行われるような感覚刺激を子どもが望めばやります。大人と一対一の関係を求めている子や、教室内のにぎやかさに疲れた子には、落ち着いた休息の空間としても利用してもらいます。

【今までやったことのあるあそびの一例】

スライム、フィンガーペインティング、絵の具やクレヨンなどのお絵描き、貼り絵、立体の工作、折り紙、スタンプ遊び、魚釣り、輪投げ、的あて、割りばし鉄砲、ジオラマ&Nゲージ、バスごっこ、宝探し、クイズ、絵合わせ、間違い探し、ジェンガ、黒ひげ危機一髪、人間間違い探し、伝言ゲーム、楽器あそび、紙粘土工作、ダブルドゥードゥルプレイ®、ブレインジム®からのエクササイズ。

【気を付けていること】

- ・環境設定。落ち着いた空間づくり（カーテンで視覚の刺激を減らしたり、アロマオイルでリラックスできるように香らせることも）。
- ・失敗しても次につなげられるようなレジリエンス（失敗からの回復力）を育むために、肯定的な声かけをしていく。
- ・普段教室で頑張っている子どもも多いので、子どものやりたい気持ちにできるだけ寄り添う。
- ・危険な事や社会的にやってはならないことは毅然と「それは違います」と伝える。次にどうすればよかったのかを一緒に考え、次回につなげる。（状況によって、間違いを敢えて見過ごす事もあります。白黒では割り切れないものも人間なので。）
- ・子どもにとってより良い幼稚園生活が送れるよう、必要あれば担任や保護者と連携する。

【最後のおあつまり】

時間がないと省きますが、クールダウンも兼ねて、ちょっとした手遊びやクイズをしたりします。最後のご挨拶「ありがとうございました」をお互いに伝え合うことは必ずします。



最後に・・・

これからの子どもたちが求められる社会スキルはとても複雑です。

多様性と柔軟性を持ち合わせていくと、時代を生きる本当の強さにつながると考えます。もちろん大人も価値観のアップデートを迫られています。

保護者の皆様、先生方に有益な情報が提供できるよう勉強を続け、私自身もアップデートしていきます！どうぞよろしくお願いたします。

遠藤の個人事業（ゆらりか）HPです

- ・発達支援（四恩幼稚園）
- ・ブレインジムなどの公式講座
- ・セルフケア

の提供



<http://yurarika248.com/>

BRAIN GYM® ※Brain Gym International. BRAIN GYM® (ブレインジム) は、教育キネシオロジー財団/ブレインジムインターナショナルの登録商標です。

在園中はもちろん、卒園後も何かあればHPの問い合わせフォームからご連絡ください。近況報告をくださると嬉しいです！

卒園後もメールで返せそうなことであればご相談にも乗ります。
(セッションなどの場合は有料となります)

定期的に専門職の方や一般の方に向けて教育キネシオロジーブレインジム®の公式講座も開催しています。

遠藤のブログです

セルフケアのことや、発達に関すること、ちょっとくだけたエピソードなどもあります。育児中の張りつめた気持ちや和らぐといいな、の想いでもつづっています。

卒園後はこちらをチェックするとばんだくらぶも感じられて、なつかしさを感じられるかもしれません・・・！



<https://ameblo.jp/yurarika248/>



遠藤由美子（ゆらりか代表）

- ・特別支援教育士（S.E.N.S.）
- ・保育士・幼稚園教諭
- ・ブレインジムインストラクター
- ・LD学会会員

自己紹介

早稲田大学卒業後、SE（システムエンジニア）に。仕事に対して違和感を抱き続けつつも5年を会社員として過ごす。以前より保育に興味があったこともあり、内なる衝動？に駆られ退職。そのまま保育士養成校に入学。資格を取得。そのままこの業界にいたので、自分には保育がっているのだと現在も思っている。SE時代はPCスキルの向上や分析的視点を養っていたのかもしれない。

養成校卒業後、保育園で保育士として働く（合間に結婚、出産。1児の母）。その傍らで発達に課題がある子の多さに気が付く。彼らへの支援について関心が高まり発達支援について勉強。

欧米の子どもたちが身体のアプローチを学校で身近に使い、セルフケアをしていると知る。その効果に驚く。自分自身も身体を動かすことで脳と心も整えられる事を体感。教育の現場にキネシオロジーを伝えたいと思い、教育キネシオロジー（ブレインジム®）のインストラクターを取得。現在は個人事業（ゆらりか）で公式講座（ブレインジム101、104、ダブルドゥードゥルプレイ）を定期的に提供するフリーランス保育士として活動。

2018年より四恩幼稚園で発達支援に携わり、ばんだくらぶ（造形遊びによる発達支援や子育て支援）を担当。それと並行し、多摩市内の放課後デイサービスにて、支援学級の音楽・図工講師らと“プチズッコロッカ（小集団の造形遊び）”を2年担当。支援が必要な子どもたちの就学後の姿を学ぶ。2021年より特別支援教育士（S.E.N.S.）の勉強も始め、2023年春に取得。WISC-4（知能検査）の分析、ADHDやASD児の支援に特別支援教育士の学びを活かしていく。

好きな事：美味しいものを食べる、作る。お笑い。温泉。意外なところで筋トレと登山。

私の良いところ：人の話を聞くのが好き。人の良いところをすぐ見つけるところ。割と打たれ強いところ。楽観的だが分析的でもあるところ。